

まちの
スケッチブック

I want to support the smile of all.



みんなの笑顔を支えたい!

自由民主党・新緑会泉佐野市議員団

千代松 大耕

ちよまつ ひろやす

住民投票／議会と首長の対立／議会の在り方
第2回 いずみさの再生タウンミーティング 開催!

市政報告
vol.70
(議会と首長)

第2回

いずみさの再生タウンミーティング

開催!

主催/自由民主党・新緑会泉佐野市議員団



鎌野 博

平成8年
泉佐野市議会議員
初当選
(現在:5期目)



中藤 大助

平成22年
泉佐野市議会議員
初当選
(現在:会派幹事長)



千代松 大耕

平成12年
泉佐野市議会議員
初当選
(現在:4期目)

昨年開催させていただきました「いずみさの再生タウンミーティング」を今年も開催させていただきます。早期健全化団体の適用を受け、財政健全化計画を国に提出した泉佐野市の財政状況や、健全化に向けた取り組み、そして教育問題など、泉佐野市政に関する報告をさせていただきます。

どなた様のご参加も可能ですので是非ともこの機会にご参加をいただき、われわれとともに「いずみさの再生」について一緒に考えましょう!

日時●11月16日(火) 19:00～(受付18:30～)

場所●泉の森ホール レセプションホール

参加費無料●(どなた様もご参加いただけます)

プログラム

1. 市政報告
2. 参加していただいた方々との意見交換、質疑応答

「千代松大耕のニュースレター」を発行しています!
読者の方々からは、「泉佐野市の状況がよくわかる。」
といった好評をいただいております。

千代松大耕メールマガジン

市政や議会の情報をいち早く市民のみなさまに、お伝えするためにメールマガジンを発行しております。

メルマガの登録は、千代松大耕のホームページ、または下記のアドレスからできます。

ホームページアドレス

<http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>

登録ページアドレス

<http://www.mag2.com/m/0000156662.html>

ひとりでも多くの方に登録していただければ幸いです。

*検索サイトで「千代松大耕」と検索していただければ、私のホームページにヒットします。

携帯用メールマガジンを開設しています!



携帯版「千代松大耕のニュースレター」の購読を希望される方は、上記のバーコードを携帯電話で読み取るか、

<http://mini.mag2.com/>

または「千代松大耕ホームページ」から登録してください。

千代松大耕ブログ「Izumisano未来日誌」を開設しています

<http://plaza.rakuten.co.jp/chiyogiin/>

「かけはし」の開催

市政と市民の「かけはし」となるべく、毎月一度、市政勉強会「かけはし」を開催しています。開催回数は70回を超えました。基本的に第4木曜日の午後7時30分から午後8時30分まで泉の森ホール2F小会議室で開催しております。前半は私がその時々テーマをお話します。後半は参加者の方々との意見交換やご質問にお答えします。どなた様のご参加もOKです。興味のある方は是非ともご参加ください。

連絡先 泉佐野市松原2-5-31

TEL.458-1708/FAX.469-0311

ホームページ: <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>

メール: chiyoma51@hotmail.com

発行部数累計: 694,500部

*「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。

- 1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
- 1986.3 泉佐野市立第一小学校 卒業
- 1989.3 泉佐野市立佐野中学校 卒業
- 1992.3 同志社香里高等学校 卒業
- 1996.3 同志社大学経済学部 卒業
- 1998.7 米国Lincoln University 大学院 修了
- 2003.3 大阪府立大学大学院 修了
- 2005.3 和歌山大学大学院 修了
- 1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
- 2000.2 泉佐野市議会議員初当選
- 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選
- 2006.5 泉佐野市議会議員3期目当選
- 2010.5 泉佐野市議会議員4期目当選

- (議会)
- 2004.5 泉佐野市議会 第61代副議長
 - 2006.5 泉佐野市監査委員(議会選出)
 - 2008.5 泉佐野市議会 第65代議長

その他、厚生文教委員長、予算特別委員長、決算特別委員長、市町村合併検討委員長、行政政委員長などを歴任

- (現在)
- (社)泉佐野青年会議所 特別顧問
 - 泉佐野市バレーボール連盟 会長
 - 泉佐野市少年軟式野球協会 副会長
 - 泉佐野市ソフトボール連盟 顧問
 - 泉佐野市柔道連盟 理事
 - 泉佐野市青少年指導員
 - 泉佐野市交通指導員
 - 第一小学校協議会 委員
 - 泉佐野市私立幼稚園連合会 顧問
 - 泉佐野青空市場活魚協同組合 顧問
 - (社)全国自衛隊父兄会泉南支部 顧問
 - 同志社大学体育会アメフト部OB会 常任理事
 - 同志社大学校友会泉州クラブ副代表
 - 佐野中柔道部OB会 相談役
 - 日本教育再生機構大阪 泉佐野支部長
 - 看護を考える市町村議員の会 副幹事長
 - 自由民主党 泉佐野支部 政務調査会長
 - 自由民主党 大阪第19選挙区支部 青年部長
 - 自由民主党 大阪府連青年局 次長

「議会を傍聴しませんか？」

議員の主な仕事は「市政に市民の声を届ける」「市政のチェック」「市政への政策提言」の三つです。これらの仕事を果たすために、定例議会におきまして毎回、一般質問をしています。本会議場や委員会における質問は、議員の務めであるとともに、権利でもあります。議場は市役所5階にあります。どなた様も気軽に傍聴できますので興味のある方は是非ともお越しください。

(問合せ先) 泉佐野市議会事務局 072-463-3723

議会と首長の対立

議会と首長の深刻な対立から解職、または解散請求、とりわけ名古屋市のようにより市長が解散請求の先頭に立つケースは、過去にも例がないと思えます。ここで考えさせられたのは、日本の地方

自治における議会と首長の関係です。国政は議院内閣制ですので、国会で議員数が最も多いグループの代表が内閣総理大臣となり組閣をします。しかし地方自治体では、議会、首長とともに住民が直接選挙をします。よって議会では反対派が多数を占めるような首長が生まれるケースがあります。そのようなときに議会と首長の対立が生じてきます。泉佐野市議会でも10年前は、新田谷市政に賛同する議員が少数でした。

阿久根市では、竹原市長が不信任決議を受けた後に議会を解散しましたが、市議会議員選挙後の議会で再度不信任を出されて失職し、出直し市長選で再選するといったことがおこりました。三元代表制の中で住民の投票行動において、住民が求める議員像と求める首長像が違ってくるケースが生まれてくるのは、候補者数や当選に必要な得票数、また当選人の数の違い、そしてもちろん議員と首長という立場の違いから起きてきます。

その最たる事象が阿久根市でありました。従来からすると「解職・解散」に関しては議会からの不信任ありきで、不信任を受けて首長は議会を解散するか、出直し市長選挙かを選択します。そういった意味では首長側は、解散権があるとはいえ、どちらかといえば受け身でありましたが、首長が先頭に立って議会を変えようとする河村名古屋市長や橋下大阪府知事のような強烈な首長が登場しました。そしてマスコミの露出度が高い首長へ住民がエールを

送っています。そのような中では議会が「閉塞感」の象徴として住民に映っているのだと考えます。

私は議会人として、これからの地方議会の在り方について考えさせられました。議会としての情報公開をより進めていく、透明性をより高めていく、選挙の時だけではなく住民の前により出ていく、といったような必要が今まで以上にあるのではないかと考えます。個々の議員や党派としての活動においては、今回開催させていただく「タウンミーティング」が二つの例としてあげられますが、それが議会全体となってくると、主義主張や活動スタイルの違いから、なかなか進まない現実がありました。しかしながら「地方議会の存在意義」が強烈な首長の登場によって脅かされているような現状としては、主義主張やイデオロギーを超えての「議会の存在意義」を高めるための真の議会改革が今こそ必要であると考えます。

泉佐野市議会では、議会改革検討会において「議会基本条例」の研究を進めていくことが決まりました。議会基本条例とは、議会の役割や議会の責任、責務などをきちんと明文化したもので、それぞれの議会においての最高規範となるものです。この条例の研究を機に、泉佐野市議会では、主張やスタイルの違いを超えた「議会」としての改革を進める必要があります。

住民投票

阿久根市の竹原信一市長の解職請求に要する署名が集まりました。また名古屋市では、議会の解散請求に要する署名が集まりました。どちらもこれから住民投票が実施され、過半数を超えると失職となります。阿久根市長の解職

阿久根市では、竹原市長が不信任決議を受けた後に議会を解散しましたが、市議会議員選挙後の議会で再度不信任を出されて失職し、出直し市長選で再選するといったことがおこりました。三元代表制の中で住民の投票行動において、住民が求める議員像と求める首長像が違ってくるケースが生まれてくるのは、候補者数や当選に必要な得票数、また当選人の数の違い、そしてもちろん議員と首長という立場の違いから起きてきます。

議会の在り方

私は議会人として、これからの地方議会の在り方について考えさせられました。議会としての情報公開をより進めていく、透明性をより高めていく、選挙の時だけではなく住民の前により出ていく、といったような必要が今まで以上にあるのではないかと考えます。個々の議員や党派としての活動においては、今回開催させていただく「タウンミーティング」が二つの例としてあげられますが、それが議会全体となってくると、主義主張や活動スタイルの違いから、なかなか進まない現実がありました。しかしながら「地方議会の存在意義」が強烈な首長の登場によって脅かされているような現状としては、主義主張やイデオロギーを超えての「議会の存在意義」を高めるための真の議会改革が今こそ必要であると考えます。